



平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成16年7月29日

上場会社名 株式会社 群馬銀行
 コード番号 8334

上場取引所 東証
 本社所在都道府県 群馬県

(URL <http://www.gunmabank.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役頭取
 問合せ先責任者 役職名 常務取締役総合企画部長

氏名 四方 浩
 氏名 真下 信夫
 TEL (027)252-1111(代)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便的な方法の採用の有無 : 有
 (内容)

貸倒引当金につきましては、6月末時点の自己査定に基づく債務者区分残高に前連結会計年度で使用した貸倒実績率等を適用して算出してあります。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年6月30日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	35,688	()	9,027	()	5,531	()
16年3月期第1四半期	()	()	()	()	()	()
(参考)16年3月期	137,187	(6.4)	16,237	(115.0)	13,384	(290.6)

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	10	96		
16年3月期第1四半期				
(参考)16年3月期	26	34		

(注) 四半期の経営成績の開示は当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

持分法投資損益 17年3月期第1四半期 21百万円 (参考)16年3月期 7百万円
 期中平均株式数(連結) 17年3月期第1四半期 504,786,703株 (参考)16年3月期 508,123,386株
 (参考)16年3月期の経常収益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対15年3月期比増減率

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期(平成16年4月1日～平成16年6月30日)におけるわが国経済は、生産や設備投資の増加が続いており、企業収益も幅広い分野で改善するなど着実な回復を続けました。金融面では日本銀行による潤沢な資金供給が続くなか、景気回復の動きを反映し、長期金利が上昇する局面がみられました。

県内経済では、個人消費が底堅く推移しました。また、電気機械や輸送機械のほか素材など幅広い業種で生産水準を上げるなど景気は回復を続けました。

このような経済環境のなか、本年4月から平成19年3月までの3年間を計画期間とする「新世紀 第二次中期経営計画」(R-PLAN)がスタートしました。新中期経営計画では「伝統的コアビジネスの収益性向上」と「顧客ニーズに即応した手数料ビジネスの拡大」の2本柱を掲げ、収益力の強化を図っております。

当第1四半期の進捗状況は、貸出面では、個人向けや中小企業向けの融資を中心に強力に推進するとともに、役務収益面では、投資信託などによる手数料の増強に努めました。また、不良債権処理費用は、厳格に自己査定を実施し6月末時点の債務者区分残高により計上いたしました。

これらの結果、当第1四半期の連結業績は、経常収益35,688百万円、経常利益9,027百万円、四半期純利益5,531百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	5,879,002	316,903	5.4	627 81
16年3月期第1四半期				
(参考)16年3月期	5,746,856	317,867	5.5	629 69

(注) 四半期の財政状態の開示は当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。
 期末発行済株式数(連結) 17年3月期第1四半期 504,777,817株 (参考)16年3月期 504,797,663株

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末の総資産は、前期末比1,321億円増加し5兆8,790億円、負債の部は前期末比1,329億円増加し5兆5,596億円、資本の部は前期末比9億円減少し3,169億円となりました。なお、主要勘定の残高は、貸出金は個人貸出が順調に増加したものの、前期末比43億円減少し3兆6,167億円、有価証券は前期末比123億円増加し1兆7,980億円、預金は前期末比1,368億円増加し5兆2,388億円となりました。

3. 17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	66,000	8,200	5,100
通期	132,000	21,200	12,100

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 23円97銭

17年3月期の中間期及び通期の業績予想につきましては、平成16年5月24日発表の数値から変更ありません。なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

1. 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	当第1四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
現金預け金	241,032				115,628
コールローン	81,336				83,389
買入金銭債権	20,501				18,434
商品有価証券	1,346				1,271
金銭の信託	19,497				19,485
有価証券	1,798,064				1,785,754
貸出金	3,616,786				3,621,130
外国為替	2,817				2,896
その他資産	61,351				63,101
動産不動産	122,394				123,684
繰延税金資産	28,125				22,954
支払承諾見返	43,671				44,540
貸倒引当金	156,683				154,174
投資損失引当金	1,239				1,239
資産の部合計	5,879,002				5,746,856
(負債の部)					
預金	5,238,811				5,101,923
譲渡性預金	63,170				61,680
コールマネー及び売渡手形	44,061				50,588
債券貸借取引受入担保金	43,921				39,100
借入金	50,778				59,217
外国為替	610				698
社債	21,686				21,138
その他負債	39,709				34,531
退職給付引当金	1,623				1,630
再評価に係る繰延税金負債	11,624				11,630
支払承諾	43,671				44,540
負債の部合計	5,559,668				5,426,679
(少数株主持分)					
少数株主持分	2,430				2,309
(資本の部)					
資本金	48,652				48,652
資本剰余金	29,114				29,114
利益剰余金	180,346				176,068
土地再評価差額金	17,220				17,229
その他有価証券評価差額金	46,506				51,696
為替換算調整勘定	508				476
自己株式	4,428				4,417
資本の部合計	316,903				317,867
負債、少数株主持分及び資本の部合計	5,879,002				5,746,856

(注) 四半期の連結貸借対照表の開示は当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。

2. 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	当第1四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
経常収益	35,688				137,187
資金運用収益	24,039				95,835
(うち貸出金利息)	(17,187)				(70,945)
(うち有価証券利息配当金)	(6,478)				(22,898)
信託報酬					2
役務取引等収益	3,550				14,265
その他業務収益	5,903				23,140
その他経常収益	2,195				3,943
経常費用	26,661				120,949
資金調達費用	1,509				6,746
(うち預金利息)	(519)				(2,562)
役務取引等費用	1,049				3,978
その他業務費用	5,364				22,184
営業経費	14,502				55,590
その他経常費用	4,235				32,449
経常利益	9,027				16,237
特別利益	57				7,690
特別損失	25				365
税金等調整前四半期(当期)純利益	9,059				23,562
法人税、住民税及び事業税	5,081				3,305
法人税等調整額	1,674				6,761
少数株主利益	120				110
四半期(当期)純利益	5,531				13,384

(注) 四半期の連結損益計算書の開示は当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。

3. 四半期連結剰余金計算書

(単位:百万円、%)

科 目	当第1四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資本剰余金の部)					
資本剰余金期首残高	29,114				29,114
資本剰余金増加高	0				
自己株式処分差益	0				
資本剰余金四半期末(期末)残高	29,114				29,114
(利益剰余金の部)					
利益剰余金期首残高	176,068				165,062
利益剰余金増加高	5,540				13,556
四半期(当期)純利益	5,531				13,384
土地再評価差額金取崩による剰余金増加高	9				171
利益剰余金減少高	1,262				2,550
配当金	1,262				2,549
自己株式処分差損					0
利益剰余金四半期末(期末)残高	180,346				176,068

(注) 四半期の連結剰余金計算書の開示は当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。

4.事業の種類別セグメント情報

当第1四半期(自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日)

	銀行業務 (百万円)	リース業務 (百万円)	その他業務 (百万円)	計(百万円)	消去又は 全社(百万円)	連結(百万円)
経常収益						
(1)外部顧客に 対する経常収益	30,012	5,658	17	35,688		35,688
(2)セグメント間の 内部経常収益	143	207	620	972	(972)	
計	30,156	5,866	638	36,661	(972)	35,688
経常費用	21,467	5,561	604	27,633	(972)	26,661
経常利益	8,689	304	33	9,027	(0)	9,027

(注)1 業務区分は連結会社の業務の内容により区分しております。

2 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

3 四半期の事業のセグメント情報の開示は当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。

(参考)

平成16年3月期(自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)

	銀行業務 (百万円)	リース業務 (百万円)	その他業務 (百万円)	計(百万円)	消去又は 全社(百万円)	連結(百万円)
経常収益						
(1)外部顧客に 対する経常収益	114,771	22,344	70	137,187		137,187
(2)セグメント間の 内部経常収益	605	1,372	2,472	4,450	(4,450)	
計	115,376	23,716	2,543	141,637	(4,450)	137,187
経常費用	99,493	23,452	2,447	125,393	(4,444)	120,949
経常利益	15,883	264	95	16,243	(5)	16,237

(注)1 業務区分は連結会社の業務の内容により区分しております。

2 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

平成17年3月期第1四半期決算について

当行の平成17年3月期第1四半期(平成16年4月1日から平成16年6月30日)における四半期決算について、お知らせいたします。

1. 第1四半期の損益状況(単体)

第1四半期のコア業務純益は、順調に推移し108億円となり、中間期予想(6ヵ月間)のほぼ半分の水準となりました。
 与信費用(一般貸倒引当金繰入額+不良債権処理額)については、6月末自己査定に基づき34億円を計上いたしました。
 これらの結果、当四半期純利益は、54億円となりました。

		(単位:億円)		
		17年3月第1四半期 (3ヵ月間)	17年3月中間期 業績予想 (6ヵ月間)	(参考)16年3月 中間期実績 (6ヵ月間)
業務粗利益		253		502
資金利益		226		448
役務取引等利益		25		50
その他業務利益		1		2
うち国債等債券関係損益		0		0
経費()		145		291
人件費		75		157
物件費		57		118
税金		12		15
一般貸倒引当金繰入額()		6		27
業務純益(- -)		114	240	238
コア業務純益((-)-)		108	220	210
臨時損益等		27		124
うち不良債権処理額()		40		125
与信費用(+)		34		98
うち株式等関係損益		8		11
経常利益		87	80	113
特別損益		0		0
税引前四半期(中間)純利益		87		114
法人税、住民税及び事業税		50		13
法人税等調整額		17		37
四半期(中間)純利益		54	50	63

(注)1. 金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、国債等債券関係損益除きの業務純益です。

中間期及び通期の業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しておりますので、平成16年5月24日発表の業績予想を変更しておりません。

2. 金融再生法ベースの категорияによる開示(単体)

金融再生法ベースの категорияによる開示債権は、16年3月末比79億円減少し3,626億円となりました。

総与信に占める比率については、0.2%低下し9.77%となりました。

	(参考) (単位:億円)	
	平成16年6月末	平成16年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,062	945
危険債権	1,596	1,773
要管理債権	968	987
小計	3,626	3,705
正常債権	33,478	33,445
合計	37,103	37,150

(注)本表金額は、億円未満を四捨五入しております。

総与信に占める割合(%)	9.77	9.97
--------------	------	------

上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。

また、同計数は平成16年3月末及び平成16年6月末を基準日として当行の定める自己査定基準に基づき算出しております。

なお、当行は部分直接償却を実施しておりませんが、仮に実施した場合の計数は次のとおりであります。

[仮に部分直接償却を実施した場合]	(参考) (単位:億円)	
	平成16年6月末	平成16年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	395	359
危険債権	1,596	1,773
要管理債権	968	987
小計	2,959	3,119
正常債権	33,478	33,445
合計	36,437	36,563

(注)本表金額は、億円未満を四捨五入しております。

総与信に占める割合(%)	8.12	8.52
--------------	------	------

債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (「実質破綻先」、「破綻先」の債権)

危険債権 (「破綻懸念先」の債権)

要管理債権 (「要注意先」のうち、3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

3. 連結自己資本比率

平成17年3月中間期の連結自己資本比率は前期比若干上昇し12%程度を予想しております。また、連結Tier 比率も8%程度を予想しております。

	(参考)	
	平成16年9月末(予想値)	平成16年3月末(実績値)
連結自己資本比率	12%程度	11.94%
連結Tier 比率	8%程度	7.74%

4. 時価のある有価証券の評価差額(単体)

16年6月末のその他有価証券の評価差額は、16年3月末比86億円減少したものの、+778億円と高水準となっております。
また、満期保有目的の債券の含み損益は、16年3月末比5億円減少し+29億円となりました。

	平成16年6月末				平成16年3月末			
	時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち	
			益	損			益	損
その他有価証券	17,052	778	908	129	16,906	865	938	72
株式	1,871	692	722	29	1,857	685	706	20
債券	12,711	102	172	70	12,716	171	214	42
その他	2,469	15	13	29	2,332	8	17	8

(注)1.上記の「評価差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価(貸借対照表計上額)との差額を計上しております。

2.「その他有価証券」に係る評価差額金は465億円であります。

3.満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

	平成16年6月末				平成16年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち		帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損			益	損
満期保有目的の債券	634	29	29	-	668	34	34	-

5. デリバティブ取引(単体)

デリバティブ取引については、取引先の要望に応えるために取組むものなどが中心で投機性の高い取引は行っておりません。また、デリバティブの評価損益は僅かであります。

(1) 金利関連取引

区分	種類	平成16年6月末			平成16年3月末		
		契約額	時価	評価損益	契約額	時価	評価損益
店頭	金利スワップ	2	0	0	2	0	0

(注)1.上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。

2.ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引等は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引

区分	種類	平成16年6月末			平成16年3月末		
		契約額	時価	評価損益	契約額	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	56	0	0	56	0	0
	為替予約	86	0	0	85	0	0
	通貨オプション	350	-	0	92	-	0

(注)1.上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。

2.ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引等は、上記記載から除いております。

(3) 債券関連取引

区分	種類	平成16年6月末			平成16年3月末		
		契約額	時価	評価損益	契約額	時価	評価損益
店頭	債券先物	2	0	0	-	-	-

(注)上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。

(4) 株式関連取引、商品関連取引、その他 該当事項はありません。

6. 貸出金(単体)

貸出金は、個人貸出が増加したことから、前年同月比387億円増加し3兆6,598億円となりました。
なお、16年3月末比では44億円の減少となりました。

	平成16年6月末	(参考) (単位:億円)	
		平成16年3月末	平成15年6月末
貸出金	36,598	36,643	36,211
うち中小企業等貸出	26,115	26,354	25,556
うち中小企業向け貸出	15,705	16,102	16,173
うち個人向け貸出	10,409	10,251	9,383

7. 預金(単体)

預金は個人預金、法人預金共に増加し、前年同月比645億円増加して5兆2,422億円となりました。
なお、16年3月末比でも1,362億円の増加となりました。

	平成16年6月末	(参考) (単位:億円)	
		平成16年3月末	平成15年6月末
預金	52,422	51,059	51,776
うち個人	38,333	37,545	37,741
うち法人	10,637	10,230	10,477

上記1～7に記載した平成17年3月第1四半期の数値は、監査法人による監査を受けておりません。

以上